

# 平成19年度 第38回関東中学校バドミントン大会 参加心得

1. 参加者は都県中学校体育連盟加盟校（参加資格の特例を除く）に在学し、各都県の競技要項により関東中学校大会の参加資格を得た者に限る。
2. 引率者、監督は参加校の教員であること。また、マネージャーは参加校の教員または生徒であること。（個人戦については、特例がある。）
3. 監督、マネージャーはこの大会が学校管理下の大会であることを認識し、大会の品位を保つために、服装を整えるとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力すること。
4. 参加生徒は、団体・個人を問わず開会式には必ず参加すること。また、入賞者（第38回全国中学校バドミントン大会の出場者）は8月8日（水）の閉会式にも参加すること。
5. 団体戦の選手変更については2名以内とし、監督、マネージャーの変更についても監督会議の開始30分前までに書面（所定用紙）によって大会事務局に申し出ること。また、選手等の変更の際には所定用紙の注意事項を参照の上、所定の方法にて変更を行うこと。なお、団体戦の選手の追加については、一切認めない。
6. 団体戦でベンチに入ることができるのは、監督、マネージャー、選手、コーチとする。コーチについては当該校の校長が認めた成人とし、日常の部活動に参加している者とする。（中学校の教員は不可）また、ベンチ入りは監督と同伴すること。個人戦でベンチに入れるのは、監督またはマネージャーとする。ただし、「関東中学校体育大会監督・引率細則」により特例として依頼された代理監督のベンチ入りは認めない。
7. 個人戦でベンチに入れるのは、監督（但し代理監督を除く）を基本とした2名までとする。監督以外の者がベンチに入る際は、入場許可申請書を大会参加申し込み時に送付する。ただし、シングルスにおいては練習相手として1名が入場できるが、練習終了後、直ちに退場しなければならない。
8. 試合前の練習時間については、挨拶後、団体戦は各3分ずつとし、番号の若いチームから行う。個人戦は同時に3分間とする。シングルスの試合では、練習相手として1名が同時に入場できるが、練習終了後、直ちに退場すること。
9. 団体戦の際には、サービスやエンドを決めるためのトスを、それぞれの試合の前に行う。
10. 団体戦は、試合の進行状況により、最初から2コートないし3コート並行で行うことがある。なお、先取マッチ（試合）方式で行う。
11. すべてのゲームの中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。
12. 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。
13. シャトルがインプレーでないときに限り、プレイヤーはマッチ（試合）中アドバイスを受けることができる。プレイヤーはインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。
14. 競技中の汗拭き等は、ゲームを中断しないように心掛けること。また、水分補給については主審の許可を得て行い、スクイズボトル等を使用すること。
15. 競技会場内では健康上の理由から冷房（エアコン設備）を使用する。
16. 競技中の服装は、平成19年度財団法人日本バドミントン協会審査合格品とする。上衣の裾は、下衣の中に入れて競技をすること。防汗や整髪のためのハチマキは認めるが、体裁良く結ぶこと。
17. フラッシュを使用した写真撮影は厳禁とする。また、VTR撮影の場合には、館内コンセントを電源とする撮影は行わないこと。（ACアダプター等の電源器具が没収される場合がある。）
18. 練習会場（コート）は別紙を参照の上、定められた会場、コートを必ず使用すること。また、会場担当者の指示には必ず従うこと。
19. プログラム等に誤字・脱字がないように十分に留意するが、訂正があれば、受付時に配布する書面（所定用紙）にて、大会事務局へ申し出ること。申し出により、大会本部より速報等にて訂正を連絡する。